

# 増加する世界の人口

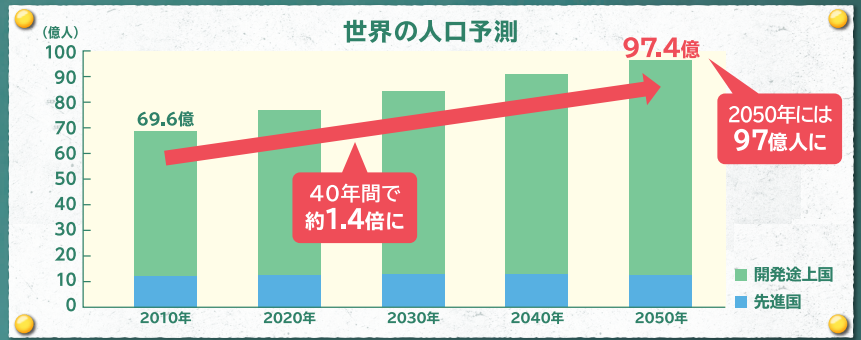
## 将来にわたって食料の安定確保のために

なぜ今?  
国消国産

### 世界では人口が増え続けている

今世界には、約78億人※が生活していますが、この人口はさらに増え続け、2050年には97億人まで増加する見通しです。2010年からの40年間で、世界の人口は約1.4倍にもなるということです。人口の増加が予測される地域の大部分はアフリカとアジアの開発途上国です。飢餓問題が解決していない地域で、これ以上人口が増加すると、食料不足や栄養不足がさらに進んでしまうことが危惧されます。

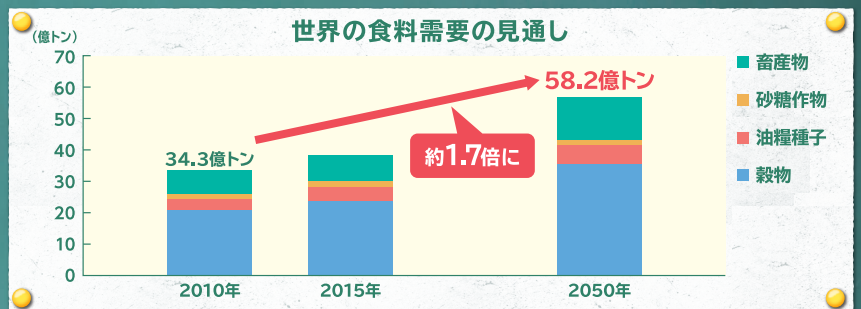
※国連人口基金「世界人口白書2020」より



出典：農林水産省 「知ってる？日本の食料事情 2020～食料自給率・食料自給力と食料安全保障」

### 人口増加にともない食料需要も増大、食料供給の観点でリスク増大

2010年から2050年までの40年間で、世界が必要とする食料は、約1.7倍に増加すると予測されています。これまで、品種改良や化学肥料の普及、農業の機械化などによって、主に単収を伸ばすことで農業生産の増加を可能としてきました。今後、世界は食料の増産、食料供給の観点で大きなリスクを抱えています。



出典：農林水産省

だから今!  
国消国産

### 「国消国産」で、世界の食料供給に安定を

日本が国内生産を増やさずに、食料を海外に依存し続けたらどうなるか。安易に途上国から輸入をすることで、その国の食料を奪う可能性はないのか。一方で、日本は将来にわたって、海外から食料を輸入し続けられるのか。世界の食料の安定確保のために、私たちができること。それは、「国民が必要とし「消費する食料は、できるだけその「国」で生「産」という「国消国産」をみんなですすめ、まずは自国の食料自給率を向上させていくことが何より大切です。

- 1 世界の人口は開発途上国を中心に増加
- 2 人口増加にともない食料需要も増大、食料供給の観点で大きなリスク
- 3 「国消国産」で、世界の食料の安定確保に貢献を

ここがポイント!

JAグループサポーター・林修



耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ